

○議長 小田 武人君

1 1 番、横尾議員の一般質問を許します。横尾議員。

○議員 1 1 番 横尾 武志君

おはようございます。自由民主党の横尾武志です。

先月の 4 月において新教育長が就任されました。ようこそ芦屋町へということで、ウェルカム一般質問を行いますので。

きょう初めてね、議員になって 2 2 年か 2 3 年になりますけど、一番最初に一般質問をするの、きょう初めてなんです。教育長においても記念になると思いますよ。そういうことで通告書に従って一般質問を行います。

まず、4 月就任された教育長に、教育長になる自分なら、我々もそうですが、議員になったらどういふことをしようかとか、いろいろ考えるけどね。いざ議会に入るとなかなかできません。そういうこともありますけど、思いのたけを、抱負を聞かせていただきたい。よろしく願います。

○議長 小田 武人君

執行部の答弁を求めます。教育長。

○教育長 三柵 賢二君

私は芦屋で生まれ芦屋で育ってきました。その中で、私は芦屋のよさを肌で感じ、芦屋が大好きです。芦屋に対して大いなる愛着と誇りを持っています。私は芦屋の子供たちにも、芦屋が大好きと実感してほしいし、我がふるさと芦屋に愛着と誇りを感じてほしいと願っています。

そのために、平成 2 8 年 6 月に策定された芦屋町教育大綱にのっとった取り組みを進めてまいります。

まず、学校教育の取り組みでは、これまでと同様に、学校・家庭・地域が連携して、「芦屋の子どもは 芦屋で育てる」を基本コンセプトとします。地域社会とかかわりながら、夢、希望、志を持った子供たちが成長してさわやかな若者になり、大人になったときには、何らかの形で芦屋町に貢献できる人物を育てていきたいと考えています。その素地づくりをするために、学校教育の取り組みを 6 点挙げています。

主な取り組みとして、まず 1 点目、学力向上の取り組みを推進します。基礎・基本となる学力を身につけさせ、学ぶ意欲を高めます。2 点目として、豊かな心の育成を図ります。規範意識の育成、語先後礼の挨拶を広げます。3 点目は、芦屋型小中一貫・連携教育の推進です。保育所・園、幼稚園と小学校の連携、小学校と中学校の一貫した教育を進めます。4 点目の特別支援教育の推進では、きめ細やかな支援体制づくりに努めます。5 点目の健やかな体の育成では、鍛錬を意識した学校行事の取り組みを進めます。6 点目のシビックプライドの醸成では、地域への誇り

平成 29 年第 2 回定例会（横尾武志議員一般質問）

や愛着を持てる取り組みを進めます。

次に社会教育の取り組みでは、住民一人一人が、心豊かで生きがいのある人生を送るためには、生涯を通じた学習活動によって、みずからの個性や能力を伸ばし、その成果を地域社会の中で生かせる環境づくりが必要です。

そこで、芦屋町生涯学習基本構想・後期推進計画に基づき、「誰もがいつでも主体的に学べるまち」、「人々が交流し支え合う、いきいきとしたまち」づくりの視点で、生涯学習を推進します。

具体的な取り組みとして、6点挙げています。主な取り組みを言いますと、1点目は生涯学習の総合的な推進です。生涯学習講座「あしや塾」を充実させます。2点目は生涯スポーツの推進です。誰でも、いつでも、どこでも運動ができる機会を提供します。3点目は歴史・文化の保護と振興です。芦屋の歴史・文化を後世に伝えるとともに、住民が芸術文化に触れる機会を充実させます。4点目は人権・同和教育の推進です。人権が尊重される社会の実現を目指し、人権教育・啓発、男女協同参画を推進します。5点目は社会性を育む青少年体験活動の充実です。次代を担う青少年の健全育成を図るため、多様な青少年事業を推進します。6点目は青少年のための安全・安心なまちづくりです。青少年を地域で守り育てるための活動を進めていきます。

以上です。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11番 横尾 武志君

今、新教育長に抱負をとということで聞いた。教育長ね、あんまりおもしろくないね、その答弁は。少し、あの、何か自分の思いは。今、6点ほど答弁されましたけれど、それはずっとやっとなったことでしょ、今までそういうことは。いいえ、私が聞きたかったのはね、新教育長はいかなる決意を持ってね、やっとする。今からやろうかということを知ったんですけどね。

そういうことでね、今後2番目の思いがあれば、改革を教育委員会、学校教育、こういうことを改革していったらどうかな。そういうことがあれば、お聞かせ願いたい。

○議長 小田 武人君

教育長。

○教育長 三樹 賢二君

まず、学校教育の取り組みでは、2点ございます。

1点目は、教師と子供と向き合う時間の確保を図っていきたくて考えています。芦屋町ではこれまで、さわやかプロジェクトの推進でさまざまな取り組みを進めてまいりました。しかし、これまでの事業の見直しは行われてこなかったように感じています。子供と向き合う時間の確保、

平成 29 年第 2 回定例会（横尾武志議員一般質問）

また、教員の多忙感の解消に向けた取り組みのために、これまで行ってきた事業の整理を進めていきたいと考えています。

具体的には、初期の目的を十分に達したと考えられるものや、形骸化した事業の見直しを既に行い、科学フェスタ、教育フォーラム、教育井戸端会議を取りやめたところです。

2 点目は、シビックプライドの醸成、すなわち、我がふるさと芦屋町に対して、愛着や誇りを持つ取り組みを今後、これまで以上に進めてまいりたいと考えています。具体的には、芦屋町に住んで芦屋のために頑張っている「芦屋びと」、さまざまな文化財、昔から伝わる伝統行事、いわゆる「ひと、もの、こと」を活用して、「あしや学」の充実を図り、芦屋に愛着や誇りを持つ子供たちを育成したいと考えています。

次に社会教育では、芦屋の誇りになるべき、文化財の振興です。例えば、芦屋釜の里では、全国に残る芦屋釜の調査研究をもとに、芦屋釜の復元と鋳物師の養成を行っています。先人たちの高い技術力と精神性をひもときながら、現代の芦屋釜の技術と品質の向上に取り組んでいます。このことは芦屋町として大いに誇れるものだと考えます。

そこで、義務教育のときから、「あしや学」と連動した釜の里、歴史の里での学習活動の充実を図り、大人になって芦屋町の文化財の価値をしっかりと認識できるよう、シビックプライドの醸成とあわせて推進していきたいと考えています。

以上です。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11 番 横尾 武志君

教育長になって、ひと月ぐらいですか。いいんですけど。前教育長はものすごくマスコミを使うのが上手でね、パーンと打ち上げるんよね。最初は脱ケータイか。何かいろいろなことを芦屋の子は芦屋で育てるとか、そのマスコミ使いが上手なんよね、あの人。課長たちそう思わん。上手やったねと思うやろ。で、しまいには、最後にはマスコミからちょっとたたかれたけどね。そういうことをあの方はやってきた。教育長は今から自分の教育方針を打ち出していくと思いますが、どうなんですか。芦屋の教育長の席に座って、感想はどうですか。

○議長 小田 武人君

教育長。

○教育長 三榎 賢二君

1 つは自分が今まで芦屋で生まれ育てていただいたという、1 つは芦屋のために何か。芦屋の教育活動を充実させることによって、何がしかの芦屋町に恩返しができる機会をいただいたなということが1 つであります。

2つ目はそれと合わせて、私は芦屋出身ですから、やっぱり地元のプレッシャー、そういったものを感じます。今、横尾議員が言われたように、前教育長が非常に、全国町村会長とかされてありましたので、そこに対するプレッシャーも私の中にありますが、私の持てる力を全力で発揮して、芦屋町の教育活動の充実と発展に微力ながら尽くしてまいりたいという、そういった気持ちを持っております。

以上です。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11番 横尾 武志君

まあね、前議長はね、前議長やない、前議長は私です。前教育長はね、そういうことで、いろんなことを手がけていて、すごい人やなと思っておりましたら、最後ちょっとおかしくなりましたけど。前教育長と三榎教育長とは人間が違いますから、自分の考えたことをやっていただければいいかな。

それから、もう3番目にちょっと入りますけどね、いじめ問題。今、全国的にいじめ問題で、この前もテレビで、教育委員会は何か事があると隠そうとするんよね。今の世の中では、教育委員会だけでなくして、我々の党首であります安倍政権も何かこう煮え切らないような、隠蔽工作というか。早く本当のことを言えば片づくのに、隠している。毎日テレビでやっている。そういうことでね、あれは教育委員会のまね、元祖教育委員会ですよ。隠蔽工作というのは。

先般、去年、私の関係でね、いろいろいじめがあつて、登校もしていないということがありましたけどね、そのときも教育委員会がいじめはないと。いじめはないと、いやありませんと言うわけです。現にいじめはあっているわけです。それでいろいろ隣にいる教育課長とも話をしましたけどね。なかなかその妙案というか、手だてがない。多分、今後も、今でもあっていると思うんですよ、小さいいじめは。後で、この前のテレビでも文科省の副大臣か誰かが、どこの市やったですかね、島根かどっかあっちのほうの市長さんと呼ばつけておりました。お小言を言ったんでしょうね。そういうことがあるから最初は隠すけど、本当に父兄が弁護士なり、いろいろな方と相談して町を訴えたりしてくると、本当のこと言い出すわけね。だから今後は、芦屋町の学校においてもいろいろなことがあると思いますよ。隠さないようにやっていただきたいと思いますが、いかがですか。

○議長 小田 武人君

教育長。

○教育長 三榎 賢二君

いじめ問題にどう取り組むかということで、ちょっと私の考えを述べさせていただきます。

平成 29 年第 2 回定例会（横尾武志議員一般質問）

いじめは決して許されないことだが、いじめはどの学校でも、どの子供にも起こり得るという考えを基本として、早期発見・早期対応に努めたいと思います。

早期発見の具体的な取り組みとしましては、町内の各学校は、日常的な児童・生徒への観察に加え、いじめアンケートまたは生活アンケートを実施しています。その中で、気になる子への個人面談を行っています。また、毎月の生徒指導委員会での情報の共有と共通理解を図り、校内における学級担任等の抱え込みを防ぎ、いじめの情報を速やかに管理職等に伝える連絡・報告体制の確立を目指しています。さらに、芦屋町では、小中の合同生徒指導委員会を毎月実施し、小中の情報の共有と共通理解、連携・協力を図っています。

早期対応の具体的な取り組みとしては、アンケート等でいじめが認知された場合は、平成 26 年 7 月に策定された芦屋町いじめ防止基本方針にのっとり、迅速かつ組織的に事実確認を行い、いじめをやめさせるとともに、次の対応等により再発防止に努めます。

1 つは、いじめを受けた児童等に対する指導並びにその保護者に対する情報提供及び支援。いじめを行った児童等に対する指導及び支援並びにその保護者に対する助言。3 つ目として、全体、例えば学級、部活動、遊び仲間等の問題として、児童等への指導をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11 番 横尾 武志君

いじめに対してね、今、教育長が言われたマニュアルには、いじめを受けた児童、担任に対する指導、それから保護者に対する情報提供及び支援。文章で書いたらこういうことだから。でも中身は何もしてないじゃないですか。前はよ。今あなたにちょっと言うて聞かせないけんところがあるから。今までは、そういうことで、こういうのはなかったんですが、28 年になってマニュアルというのをつくって、それでもその、いじめたほうといじめられたほうの対策はなっていないけど、その辺は今後どんな対策をしようと思いますか。

○議長 小田 武人君

教育長。

○教育長 三榎 賢二君

先ほど議員がおっしゃった、学校は隠すということがあるんじゃないかということのお考えをいただきましたので、学校がいじめの問題を隠さないようにする対策について自分なりの考えを述べさせてもらいます。

いじめの情報を抱え込んでしまうと、どうしても早期対応が難しくなり、重大事案に発展する

平成 29 年第 2 回定例会（横尾武志議員一般質問）

ことも考えられます。校内における学級担任等の抱え込みを防ぎ、いじめの情報を速やかに管理職等に伝える、連絡・報告体制の確立を目指すために、校長会、教頭会、主幹会あわせて小中合同生徒指導委員会等で指導していきたいと考えています。

以上です。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11 番 横尾 武志君

いじめは昔からある。なかなか、私が少年時代はいじめはあったんでしょうが、私は鈍いからね、どこでいじめられたんやら、わかりませんが。そういうことで、この前もテレビで毎日やっとなんですけど、学校のね、子供だけやないんよ。先生、先生がいじめるといふか、そういう発言を担任の先生から子供が言われるとね、相当きくと思いますよ。そやから、先生たちに対しての指導はどういうふうにやっといこうかなと。まあどうせ先生は学校一丸となって穩便にといふことでやるから、そういうことになるからね。先生たちのいじめに対する、先生に対する教育と言ったらおかしいけど、そういうことは、教育長はどうやっといこうかなと思っっていますか。

○議長 小田 武人君

教育長。

○教育長 三桝 賢二君

教員が子供に対していじめを行う、これはもつてのほかな行為で、事と次第によっては体罰に当たるといふふうに考えます。校長を中心とした校内生徒指導委員会等で職員に対する研修を深めていきたいと考えております。また、さまざまな通知文が出ておりますので、そういった通知文にのつとつた形で研修を進めて、教員の認知力を高めていきたいといふふうに考えております。

以上です。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11 番 横尾 武志君

あのね、なかなかここには、何かこうマニュアルを書いてありますけどね、きょうは本当言つたら、学校教育課長とお話をさせていただきたいなと思っますけどね。

一般、東小学校でいろいろ事件がありましたね。それをちょっと前回、前々回ぐらい、私もちょっと一般質問をしました。学校の先生は立派な先生であるといふお答えをいただいとるんです。担任の先生。でもね、ずっと聞き取り調査をしたところね、やっばし、先生が生徒をいじめらんかどうかわかりませんがね、その生徒のことは一切受け付けない。こうしたらいいとか、ああしたらいいとか。勝手にせいとかいふような感じでしたね。クラスメイトからもいろいろあるし、

平成 29 年第 2 回定例会（横尾武志議員一般質問）

担任の先生からもそういう突き放しみたいな話をされるから、学校行かんようになる。そういうのが事実ありますからね。教育長、よく隣の学校教育課長にいきさつを、話を聞いてください。そして今後、絶対ないようには言いません、ありますからね。そやから校長先生が早く対処して、せんと隠蔽工作にとられる。何も隠してるわけでもなからうけどね。長引いて出てくると、それこそあんた新聞沙汰になる。そやから、今後はそういうことが起きたらいけないので、そういうことはどうするか、内部でもっとじっくり話するということはありますか。

○議長 小田 武人君

学校教育課長。

○学校教育課長 新開 晴浩君

議員御指摘の昨年の件につきましては、こちらのほうとしても反省材料といたら悪いんですが、あのことを踏まえてですね、今まで以上に過ちを繰り返さないように、そしてまた御指摘のように三桝教育長のほうに昨年の件を、いきさつを詳しく御説明して、二度と極力起こらないようにですね、踏まえた上で今後対策を取っていきたいと考えております。

以上です。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11番 横尾 武志君

そういうことでね、よろしくお願いします。きょうは教育長のね、新教育長の心構えと抱負を聞きたかったですが、きょうは軽くジャブを流したということで、この辺にしときましようかね。だんだん時が経てば教育長の考えもしっかりしてくると思います。そうことで、ありがとうございました。本日の一般質問、終わります。町長、町長にちょっと聞きましょうか。事があればね、最高責任者であるね、町長は最終的には責任とか、いろいろなことがあると思いますので、一言どうぞ。

○議長 小田 武人君

町長。

○町長 波多野茂丸君

三桝教育長もですね、就任されたばかりで、初めての議場に入って、初めて席に着かれて、もうコチコチですね、非常に緊張されておられます。本来、饒舌で非常にスマートに説明されるんですけども、ひしひしと感じました。鋭い質問されたわけでございますが。

三桝教育長になられてすぐ、いろいろなお話をしました。今、横尾議員、るる抱負という形の中で御質問いただいたわけですが。いじめ問題に関してもそうなんですけど、私と三桝教育長の間ですね、とにかく、かっこよく言えば、不易流行ということがあります。不易とは変わらな

平成 29 年第 2 回定例会（横尾武志議員一般質問）

いこと。流行とは変えること。とにかく変えてくださいと。芦屋町の教育、決してこれ、前教育長が悪いというのではなく、やはりそのとき、そのときでしなければならないことというのは必ずあるわけでございます。今、最後に言われましていじめ問題ですね、これは本当に大事な問題で、命に関わる問題です。だから、そのことを成し遂げるにはどうしたらいいか。学校行事が余りにも多すぎるから思い切って、どうぞやりたいように行事を減らしてください。そのかわりその時間は、一番大事なものは、先生と子供が向き合うこと。向き合う時間をたくさんつくってください。そうすれば、結局、今もう 35 人学級で 30 人ぐらい。昔は 50 人から 55 人、1 クラス。1 人の先生。十分目が行き届き、十分子供たちと 1 対 1 でいろいろ話ができる。そういう学校に、先生と子供が向き合っ、心を開いて、いろいろするように。ただやっぱりいろいろな行事を減らしますので、御批判は出てくると思います。行事を減らすことで学校行事。しかしそれは耐えてくださいと。これはもう余りにも先生方、他の行事に時間をとられ過ぎて、なかなか先生方も厳しい状況におられますので、そのことをごしんしゃくいただきまして、温かい目で御指導賜ることお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長 小田 武人君

横尾議員。

○議員 11 番 横尾 武志君

はい、町長のお言葉よくわかっております。三桝教育長もね、人事で議会にかかって、人事案件で承認されたんで、それはもう議会が承認、満場一致で承認しております。満場一致で承認したから、その席におるわけですからね。我々も、議員一同も期待しておりますので、よろしくお願ひしまして終わります。

○議長 小田 武人君

以上で横尾議員の一般質問は終わりました。